

安全報告書 2014



1 ゆりかもめ[安全報告書2014]発行にあたって

いつも「ゆりかもめ」をご利用いただき、ありがとうございます。

都心と臨海副都心を結ぶ「ゆりかもめ」は、平成7年11月に開業し、臨海地域の開発整備の進展とともに成長してまいりました。

昨年度は、東京モーターショー等のイベント効果もあり、過去最高の輸送人員を記録し、地域にお住まいの皆様をはじめ、通勤・通学のお客様、国内外から観光やビジネスで来訪のお客様等、一日約11万人の方々にご利用いただきました。また、昨年9月には2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し「ゆりかもめ」に対する期待が一層高まってきております。

鉄道事業者である弊社におきましては、安全・安定輸送を最大の使命・責務と考え、日々の保守点検、教育訓練、施設の改修・改良等、各施策を計画的に講じてまいりました。

しかし、2月には大雪の影響により、お客様には大変ご迷惑をおかけしてしまいました。弊社といたしましては、今まで以上に雪に強く、お客様に安心して快適にご利用いただける「ゆりかもめ」を目指してまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全を確保するために弊社が取り組んだ平成25年度の実績とともに、平成26年度に重点的に取り組む施策等をまとめたものです。広く皆様にご理解をいただくとともに、安全管理の一層の充実を図っていくため、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 宮川 昭

2 安全方針

当社では、「安全方針」を次のように掲げ、社員全員に周知・徹底しています。

ゆりかもめ安全方針

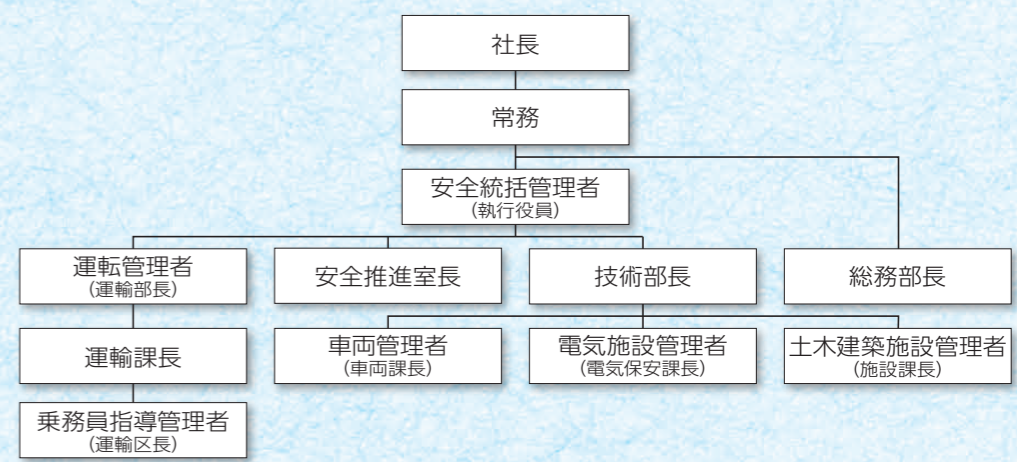
私たちは、お客様の安全を最優先に一致協力して、災害に強く、事故のない「新交通ゆりかもめ」をめざします。

- このため、
- 日々、法令・規程を遵守し、忠実に職務を遂行します。
 - 情報を迅速かつ正確に伝えて共有化し、事故の芽を摘むことに努めます。
 - 常に安全に対する問題意識を持ち、必要な改善に取り組みます。
 - 事故・災害等の発生時は、人命救助を最優先に行動します。

3 当社の安全管理体制

[1]安全管理体制図

社長を筆頭とする安全管理体制を構築しています。各責任者の責務を明確にし、安全確保に取り組んでまいります。



[2]役職と責務

社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全確保に関する業務を統括する
安 全 推 進 室 長	安全統括管理者の指揮の下、事故防止に関する事項を統括する
総 務 部 長	安全統括管理者と連携し、輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務、人事に関する事項を統括する
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、動力車操縦者の資質保持に関する事項を管理する
土 木 建 築 施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、土木・建築施設に関する事項を統括する
電 気 施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

[3]保安対策委員会

ゆりかもめの運行における安全管理体制を確立し、安全意識の徹底を図ることを目的とし、社長、役員、管理職及び現場長をメンバーとした保安対策委員会を年5回開催しています。



4 平成25年度事故・輸送障害等の概要

[1]運転事故

運転事故の発生はありませんでした。

[2]輸送障害 (30分以上の遅延や運休)

輸送障害は、車両故障が1件、自然災害が4件、その他1件(飛来物による停電)の合計6件発生しました。お客様にとくに影響が大きかったのは次の4件でした。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけいたしました。

- 平成25年5月20日 車両の故障により遅れと運休が発生しました。
- 平成25年9月16日 台風18号の影響により約5時間にわたり運転を見合わせました。
- 平成26年2月8日、14日 雪の影響により遅れと長時間にわたり運休が発生しました。

[3] インシデント (事故の兆候)

事故の兆候であるインシデントの発生はありませんでした。

5 輸送の安全確保のための取り組み

[1] 安全重点施策

安全方針に基づき、安全性の維持向上のため目標と計画を定めた「安全重点施策」を年度ごとに策定し、取り組んでいます。

◇平成25年度に取り組んだ内容のうち、主なものは次のとおりです。

区分	内容
安全・安定輸送の確保	列車への電力供給が途絶えた場合を想定した実践的な訓練を実施した 非常時に列車乗車中の社員のとるべき対応訓練を実施した 信号保安装置の遠隔操作不能時を想定した現場取り扱い訓練を実施した
設備の新設・更新・機能維持	新造車両を5編成導入した デジタル列車無線機器各種試験及び車両との総合試験を行い、竣工した 在来車両3編成の制御装置を更新した ホームドアレール100本の補修を実施した 電力を供給するための電線の劣化調査及び引替工事を実施した

◇平成26年度に取り組む内容のうち、主なものは次のとおりです。

区分	内容
安全・安定輸送の確保	運輸部門と保守部門が合同で、旅客誘導の訓練を実施する 新旧車両に対する故障処置訓練及び非常処置訓練を実施する 信号設備等の障害を想定した復旧訓練を実施する 雪害総合マニュアルを作成するなど、雪害時の対応力強化を図る
設備の新設・更新・機能維持	新造車両を新たに6編成導入する 在来車両3編成の制御装置を更新する ホーム・駅構内監視カメラの更新のため、詳細設計を実施する ホームドアレール100本の補修を実施する 芝浦ふ頭駅他、5基のエレベーターを更新する

[2] 役員・管理職による職場巡回

夏季及び年末年始の安全総点検等には、社長以下管理職が各職場を巡回し、安全確認を行っています。また社員との懇談会を通じて安全意識の高揚を図っています。



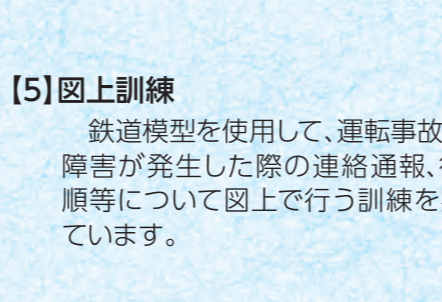
[3] 異常時総合訓練

異常時を想定し、お客様の避難誘導や事故復旧、併結訓練等を同時に行う総合訓練を実施しています。



[4] 新造車両を使った訓練

運転事故や輸送障害等の発生時に迅速な対応を行うため、新造車両の構造や取り扱い方法についての訓練を実施しています。



[5] 図上訓練

鉄道模型を使用して、運転事故や輸送障害が発生した際の連絡通報、復旧手順等について図上で行う訓練を実施しています。



[6] 教育訓練の充実

事故・災害等への対応力の強化と技術レベルの向上を図るため、様々な訓練を実施しています。



◇ホームドア復旧訓練

ホームドアの不具合発生時を想定し、早期復旧をするための訓練を実施しています。



◇救援用仮台車組み立て訓練

タイヤが回らない等の事故発生時に備え、仮台車の組み立てを訓練し、緊急時においても迅速に対応できることを目的とした訓練を実施しています。



[7] 安全のための支出

平成25年度は、安全の維持・向上のため、総額60億円を施設、設備や車両の更新・修繕、保守管理等に充てました。

6 ゆりかもめの安全を支える設備

ゆりかもめは総合管理システムによる全自動無人運転により、安全で快適な運転を行っています。この他、次のような設備によりお客様の安全を確保しております。



◇中子式補助輪付きゴムタイヤ

走行中にタイヤがパンクした場合でも、タイヤ内部に中子式補助輪があるので安全に走行することができます。

◇車内案内表示器

新造車両は、次駅名・扉の開く方向・運行情報等、お客様に対して必要な情報を表示し、海外からのお客様へも対応出来るよう4カ国語(日・英・中・韓)の案内を行っています。



◇保守用作業車

走行路等の保守点検作業は終電後に保守用作業車を使用し、トロックを連結して資材運搬等を行っています。

お客様へのお願い

ゆりかもめは自動運転をしています。閉まりかけた扉への無理なご乗車は、危険ですのでおやめください。今後とも安全運行に向けて、お客様のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

この安全報告書や当社の安全への取り組みに対するご意見・ご感想をお寄せください。

株式会社ゆりかもめ 総務部 総務課
TEL 03-3529-7777 [代] 9:00~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)
FAX 03-3529-7770

URL <http://www.yurikamome.co.jp>

